

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号の
規定による認定申請書

年 月 日

殿

申請者
住 所 _____

氏 名 _____ 印

私は _____ が経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っている
(注 1)
ことにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じており
ますので、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号の規定に基づき認定されるよう
お願いします。

記

1 金融機関からの総借入金残高のうち、_____ からの借入金残高の占める割合
(注 1) _____ % (A / B)

A _____ 年 月 日の _____ からの借入金残高 _____ 円
(注 1)
B _____ 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 _____ 円

2 _____ からの借入金残高の減少率 _____ % ((D - C) / D × 100)
(注 1)

C _____ 年 月 日の _____ からの借入金残高 _____ 円
(注 1)
D _____ 年 月 日 (C の前年同期を記入のこと) の _____ からの借
入金残高 _____ 円
(注 1)

3 金融機関からの総借入金残高の減少率 _____ % ((F - E) / F × 100)

E _____ 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 _____ 円
F _____ 年 月 日 (E の前年同期を記入のこと) の金融機関からの総借
入金残高 _____ 円

(注 1) _____ には、経済産業大臣が指定する金融取引の調整を行っている金融機関の
名称を記入すること。

(注 2) 申請者の全ての金融機関からの総借入金残高及び _____ からの借入
(注 1)

金残高が確認可能な残高証明書、財務諸表、借入証書等を添付すること。
(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会
に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

申請提出数・・・申請書は正本 2 通作成してください。

認 第 _____ 号 (_____ 号)
申請のとおり相違ないことを認定します。 <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">(認定者) _____ 印</p> <p>(注)本認定書の有効期間： _____ 年 月 日から _____ 年 月 日まで</p>